

- 3.写真をLINEのトーク画面に送る
- 4.スポット番号を入力する
- 5.次のスポットへ!



できる限りまわったら、おまつり会場へGO!!

Ⓜ …過去の写真  
高難度スポット!?



出典: Utsunomiya Web



# ユースチャレンジ! コラボプロジェクト 活動報告

仙台っ子Craftsめん

得点について  
スポット 点数

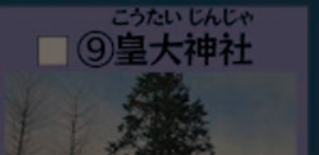
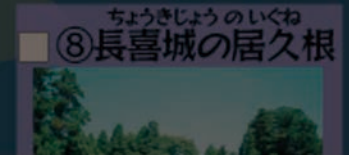
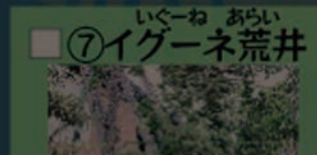
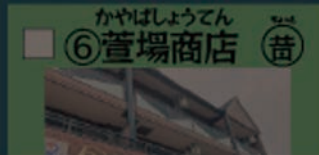
10点	20点	30点
-----	-----	-----

+

サブミッション点数  
Ⓜの地名・字が残っている  
看板・標識等を撮影し、  
見つけた数×10ptプラス!

合計得点に応じて  
景品ゲット!

しちこうしょうがっこう  
⑪七郷小学校 Ⓜ





## R3年度版(第2回)仙台まちづくり若者ラボ

⇒ 主に大学生や若手社会人を中心に、ワークショップやフィールドワークを通じて、自分ごととして関われる **まちづくりに関するアクションプランを提案**するプロジェクト（約半年）



2023/03/10

メンバー構成  
大学生2名 社会人4名



# 提案したアクションプラン

コンセプト：仙台に愛着を持つ人が増える



地域に潜在する面白いコンテンツに気付く必要があるのでは？

地域で原体験する機会づくりが必要

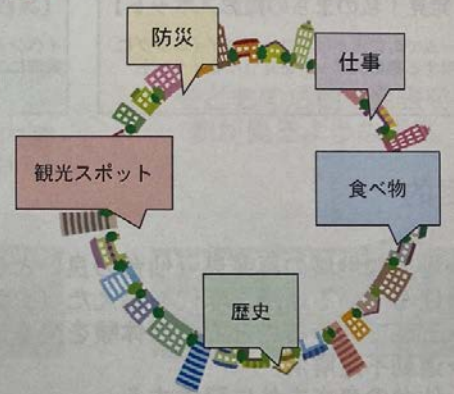
## ☆フォトロゲイニング（競技版まち歩き）

地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは、見本と同じ写真を撮影。チェックポイントの数字がそのまま得点となり、より合計点の高いチームが勝利。



参加者やテーマによってアレンジも無限

地元の子供 × 外部から来た子供	＝ ヨコのつながり
地元の家族 × 地元の家族	＝ タテ/ナナメのつながり
日本人/外国人観光客 × 地元住民	＝ ナナメのつながり



アクションプラン報告で一応活動終了・・・まちづくり協議会「荒井タウンマネジメント」さんよりお声が！



# 「あらい七夕プロジェクト」参加

◎あらい七夕プロジェクト：仙台市若林区まちづくり活動助成事業（申請団体：あらいフェローズ）


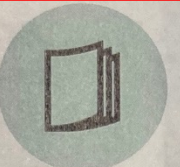

- 地域に関わる**多種多様な人たちが主体**となり、住人や訪れる人にとって魅力的なまちへ
- 安心・安全なまちの礎となる「**顔の見える関係**」づくりへの貢献
- 一過性ではない**人の流れやコミュニケーションの場**づくりへの貢献

## あらいフェローズ

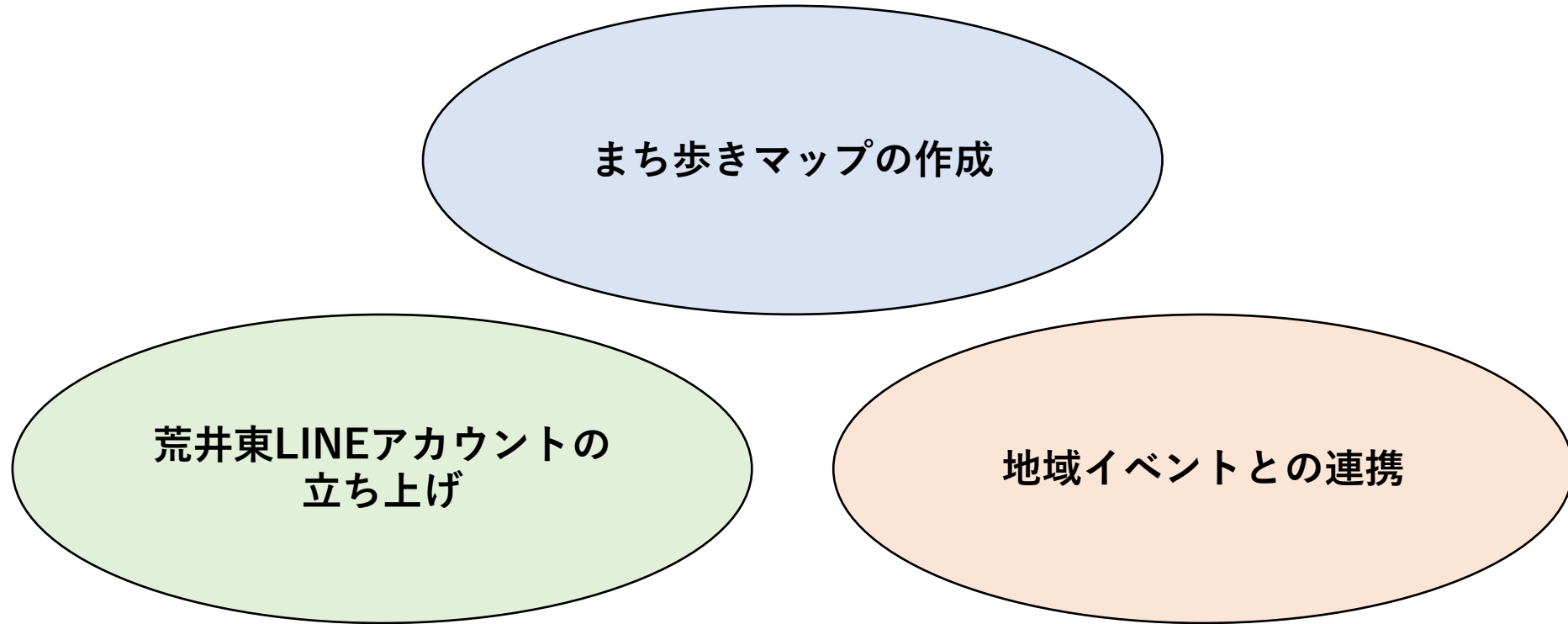
中荒井町内会 荒井広瀬町内会 (株)ユカリエ  
河北仙販売 (一社)荒井タウンマネジメント  
せんだい3.11メモリアル交流館 地元農家・住民

← 仙台っ子Craftsめん

## 事業内容

 <p>七夕飾りの制作・設置</p>	 <p>まち歩きペーパーの作成</p>	 <p>七夕とまち歩きを 組み合わせたイベントの開催</p>
<p>誰でも自由に、都合の良い時間に、飾りづくりに参加できるように一定期間、制作の場所を数ヶ所用意する。また、七夕飾りの展示場所でも、見に来た人たちに会話や交流が生まれる機会をつくる。</p>	<p>道を歩く人たちの歩く速度が少しゆっくりになるような、すれ違う人とふと会話が生まれるようなスポットを若者の視点で発見し・伝えるまち歩きペーパーを作成する。作成にあたって、プロのデザイナーから学んだり、地域を良く知る方と一緒にまち歩きを行う。</p>	<p>荒井駅を中心としたイベントの開催</p>

～荒井東地区の過去に出逢い、未来に繋げる、まち歩きマップ活用事業～



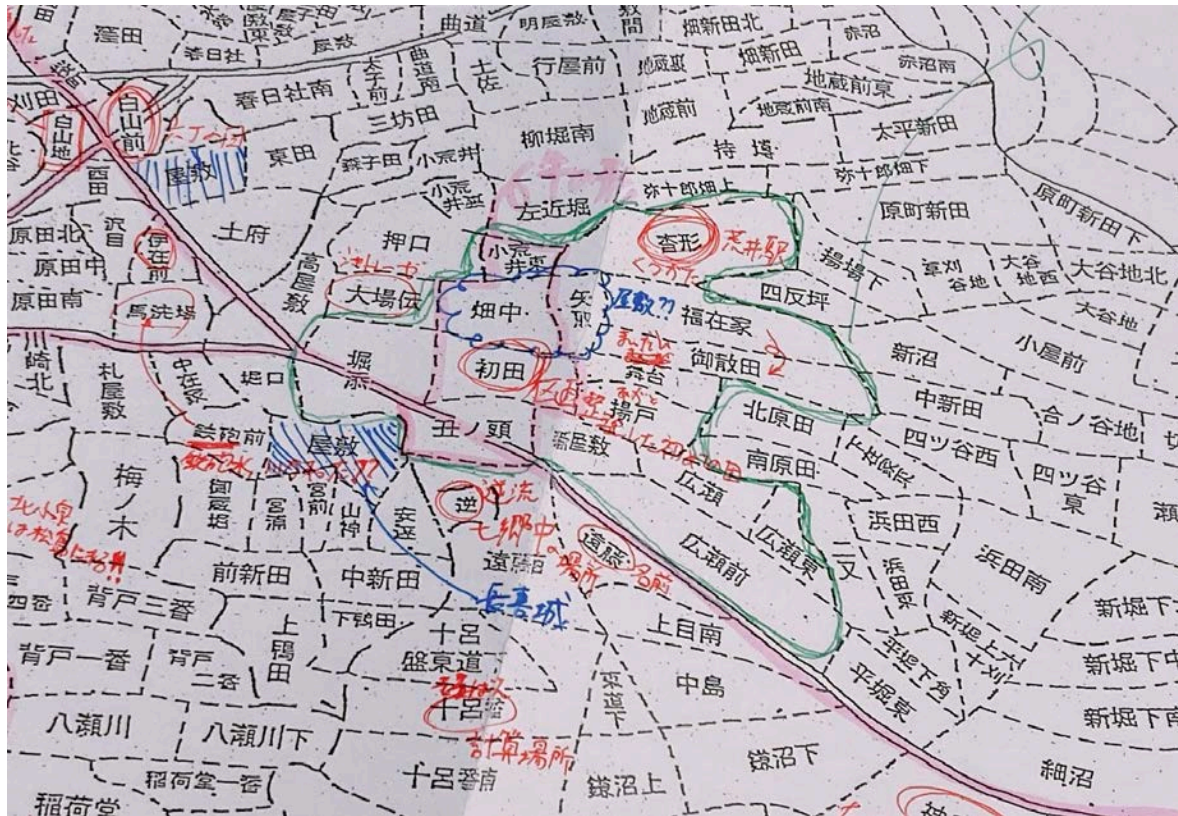


# まちあるきマップ作成

## ネタ集め&スポット選定

- ヒアリング・資料収集→七郷地区マスターの松木さん, メモリアル交流館
- 実際にまち歩き

七郷地区の旧字マップ



⇒ 「歴史」をテーマとすることに

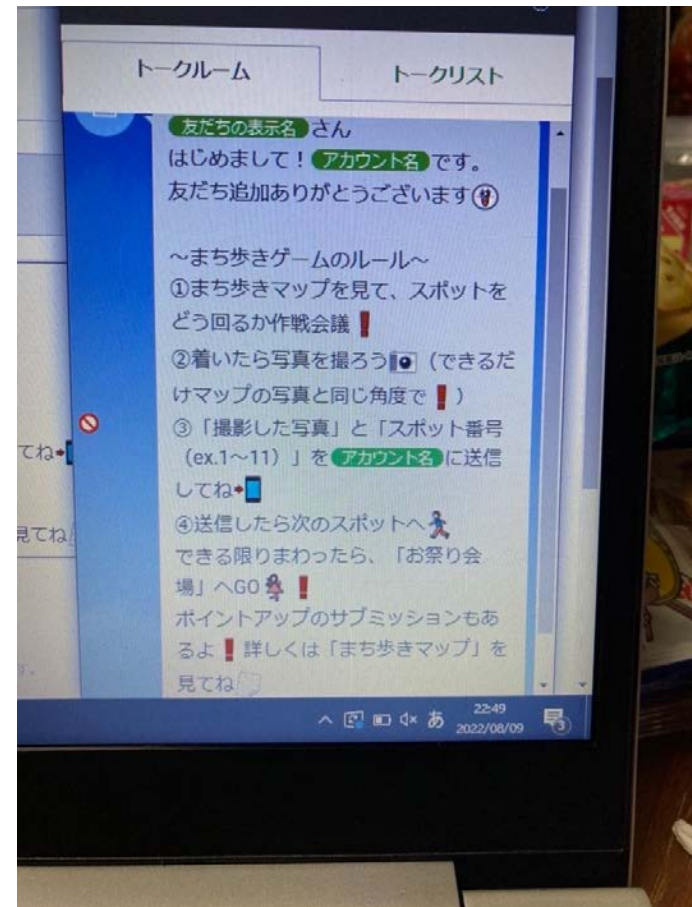




# 荒井LINEアカウントの立ち上げ

## LINEアカウントの立ち上げ

- ① スポットに行って写真を撮っただけでは伝わらない歴史がある  
→写真と一緒にスポット番号を送信してもらうことで、スポットの説明が表示される仕組み
- ② 現在の参加状況・景品の残り状況・ルール等の送信
- ③ 災害等緊急時の活用







# フィードバック&今後の展望

- ✓ まちあるきマップは計**290部**配布達成
- ✓ 用意した景品はほとんど無くなった（景品で釣る戦略はハマった(笑)）
- ✓ マップのクオリティが高く、評判はかなり良かった
- ✓ 猛暑の中ではあったが、たくさんのスポットを回った人が想像より多かった

## 難しかったこと

- ✓ スポットの点数調整（どの距離に何点のスポットをおくか, 他のスポットとの位置関係）
- ✓ 景品の得点基準の決定（参加者がどれくらいスポットを回れるのか未知数だった）
- ✓ イベントへの引き込み方（当日は猛暑。言葉やマップ・景品で何とか参加してもらうよう説明）

## 一過性のイベントにならないために・・・

- 今度は「**防災**」「**食**」などテーマを変えて実施
- 特に専門的な知識は必要ないので、**地元の方たちで運営**してもらう
- まわるスポットを**地元の子どもたち自身**で決めてもらう（各々思い入れのある場所など）
- LINEアカウントは現状ほぼ動いていないため、地域情報を流す等の運用検討
- スマホやカメラ等の撮影機器を持たない世代への対応